

第二期事業



事業概要（第2期）

マラウイ共和国ゾンバ県における 洪水被災者への食糧・リカバリー物資 配布事業

- 2019年8月9日から11月8日まで（92日間）。
- T/A Mwambo及びT/A Nkapita（対象地域）。
- T/A Mwambo の被災550世帯に対してターポリンとブランケットを配布すると共に、T/A Nkapita の被災1,060世帯に対してはメイズ及び米、豆の食糧物資を配布した。

T/A Mwambo	GVH	配布世帯数(ターポリン及びブランケット)
Mwambo	Mbalu	300世帯
Mwambo	Makawa	250世帯
合計	2 GVH	合計550世帯

T/A Nkapita	GVH	配布世帯数(メイズ及び米、豆)
Nkapita	Mbukwite	280世帯
Nkapita	Mwangata	250世帯
Nkapita	Masaula	180世帯
Nkapita	Balamanja	120世帯
Nkapita	Fikila	80世帯
Nkapita	Kapalasa	80世帯
Nkapita	Nkasala	70世帯
合計	7 GVH	合計1,060世帯



関係機関への挨拶

- 在マラウイ日本国大使館。
- JICAマラウイ事務所。
- DoDMA (Department of Disaster Management Affiars)。
(マラウイ政府の災害対策局)
- WFP (World Food Programme)。
(Food Securityのリード・エージェンシー)
- RC (Malawi Red Cross)。
(Shelter and Camp Managementのリード・エージェンシー)
→ ゾンバ県における洪水被災者への食糧・リカバリー物資配布事業は両方の所属している。

食糧・支援物資の配布前の準備

- 食糧・支援物資の調達。
- 関係者への事業説明。
- ワークショップの開催。
- 裨益者選定会議及び裨益者リストの作成。

裨益者選定会議

- T/A Nkapita (GVH Fikila及びNkasala、Mwangata、Kapalasa、Mbukwite)とT/A Mwambo (GVH Mbalu)にて裨益者選定会議を開催した。
- 各GVHの村長と住民を集めた全体会議を開催し事業概要を説明した後に、村ごとに分かれて村会議を開催してもらい、食糧・支援物資の配布対象となる候補者リストを村ごとに作成してもらった。
(各村から回収したリストを基に、こちらで候補者の中から裨益者を選定)。
- 回収した候補者リストの中にWorld Food ProgrammeやMalawi Red Crossから既に食糧・支援物資が配布された裨益者が含まれていないかどうか確認作業を進めた。

裨益者選定会議の様子

T/A Nkapita GVH Mbukwiteでの裨益者選定会議の様子(全体会議)



裨益者選定会議の様子

T/A Mwambo GVH Mbaluでの裨益者選定会議の様子(村会議)



ワークショップの開催

- 裨益者550世帯を対象にしたワークショップ。
- 裨益者と一緒にターポリンの活用方法を考えた。
- ターポリン活用の面白いアイデアもあった。

ワークショップの様子

T/A Mwambo GVH Makawaでのワークショップ



ワークショップの様子

T/A Mwambo GVH Makawaでのワークショップ



ワークショップの様子

T/A Mwambo GVH Makawaでのワークショップ



食糧・支援物資の配布

- 2019年9月27日（金）から10月7日（月）まで（配布期間）。
- 裨益者リストを基に一人ずつ食糧・支援物資を配布した。
- 配布場所は、住民が集まりやすい小学校などを選んだ。

食糧・支援物資配布の様子

T/A Mwambo GVH Mbaluでのターポリン及びブランケット配布



食糧・支援物資配布の様子

T/A Mwambo GVH Makawaでのターポリン及びブランケット配布



食糧・支援物資配布の様子

T/A Nkapita GVH Mbukwiteでの食糧物資配布



食糧・支援物資配布の様子

T/A Nkapita GVH Mbukwiteでの食糧物資配布



食糧・支援物資配布の様子

裨益者への食糧・支援物資の配布場所(小学校)



食糧・支援物資配布の様子

裨益者への食糧・支援物資の配布場所(小学校)



事業モニタリング

- 2019年10月8日（火）から10月22日（火）まで。
（モニタリング期間）
- モニタリングを299件実施した。
（モニタリング目標総数250件を大幅に上回ることができた）

事業モニタリング

裨益者から寄せられた意見や感想の一部

1. 「早速、ターポリンを屋根に設置した。大変役立っている」
2. 「(配布された食糧が)生活の糧になっており、大変感謝している」
3. 「(野菜などを作付けするために)肥料が欲しかった」
4. 「(現金収入を増やすために)家畜(ヤギ又はブタ)が欲しかった」
5. 「サイクロンで家が半倒壊したので)建築材料(セメントなど)が欲しかった」

事業モニタリングの様子

T/A Nkapita GVH Mwangataでのモニタリング



事業モニタリングの様子

T/A Nkapita GVH Kapalasaでのモニタリング



事業モニタリングの様子

裨益者が配布されたターポリンを自宅の屋根に設置しているところ



事業モニタリングの様子

ターポリンが設置された裨益者宅



事業モニタリングの様子

裨益者宅を内部から撮影。ターポリンがどのように使用されているのかがよく分かる



活動で苦労した点

- 事業はスケジュール通りに順調に進んだ。
- しかしながら、事業モニタリングは炎天下の中、裨益者宅を一軒一軒訪問したので大変だった。
- 従業員の体調管理に気を使った。
- 停電が多かったので、パソコンが使えず仕事ができないこともあった。

印象深かった点

- 初めてのアフリカ滞在だったので、マラウイの文化や価値観などが面白かった。
- マラウイは経済的に貧しい国である。
- 現地に仕事がほとんどない。
- 裨益者リストの作成が大変だった。
- 食糧支援物資の裨益者から感謝の言葉を頂いた。
- 約1カ月分の食糧援助だけでは、裨益者の生活は厳しい。

印象深かった点



印象深かった点



印象深かった点

